

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

空知管内 岩見沢市立東小学校

本実践のポイント（概要）

- 北海道に対する愛着や自然・環境を大切にできる態度を育むため、総合的な学習の時間と社会科で、アイヌの人たちの歴史や文化等について調べるとともに、外部講師を招聘して行った体験的な学習等を通して、アイヌの人たちの文化や北海道の歴史について探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

アイヌの人たちの歴史や文化について、特色を調べる活動や体験的な学習を通して、アイヌの人たちの衣食住等を理解するとともに、ふるさとを愛し、北海道への愛着や自然・環境を大切にできる態度を育み、ふるさとに対する自分の考えを表現できるようにする。

取組の様子

（1）課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、アイヌ語やそれが由来となった地名について学習し、「衣装」「食べ物」「住まい」「信仰」「器楽」のテーマに分かれて調べる探究課題を設定しました。



【体験的な学習の様子】

（2）情報の収集

北海道アイヌ文化財団「あ - と・ひろ」やアイヌ教育相談員による講話及び体験的な学習、1人1台端末を活用した調べ学習を通して、情報を収集しました。実際にアイヌの人たちの踊りや器楽演奏、使用していた道具に触れることで、五感を伴って情報を収集することができました。



【1人1台端末を用いて発表する様子】

（3）整理・分析

1人1台端末を用いて、収集した情報を整理するとともに、ロイロノートやパワーポイントを用いて、児童同士で内容について交流・協議しながらスライドを作成し、アイヌの人たちの歴史や文化について理解を深めました。

（4）まとめ・表現

作成したスライドを用いて、下学年の児童に発表する活動を通して、アイヌの人たちの歴史や文化についての理解を深めるとともに、下学年の児童に対し、学習の見通しをもたせることができました。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- 一人一人が課題解決に向けて学習を進めることができるよう、情報の収集の場面で、個別にインターネット等を活用して調べた情報を蓄積するとともに、整理・分析の場面で、調べた情報をグループ内で集約・共有しながら整理することができる場面を位置付けました。
- まとめ・表現の場面で、伝える相手を意識し、伝え方や表現方法について対話を通して考え、1人1台端末の録画機能を活用し、交流・協議を行いました。

実践の振り返り

- アイヌ文化財団「あ - と・ひろ」との交流により、アイヌの歴史や文化に直接触れる機会になったほか、児童が設定した課題について、探究的に学習を進めたことにより、アイヌの人たちの歴史や文化に対する興味・関心が高まり、北海道に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 児童が北海道の歴史や文化に興味・関心をもち、新たな課題を見いだす探究的な学習を推進することで、北海道への愛着や自然・環境を大切にできる態度を一層育むことが期待できます。